

## 学校の働き方改革取組み事例

### その他

No.	取組み内容																								
1	<p><b>【家庭との連携】</b></p> <p>○3年生の自転車教室は、学校に自転車を持ってこさせて実際に練習を行っていたが、登下校時の安全面を考慮しDVDを使っての指導とし、児童が自転車に乗ることについては、家庭に任せることにした。</p> <p>○宿泊学習や修学旅行の荷物の事前検査は行わず、保護者が記入したチェックシートの提出のみとした。</p> <p>○警報発令時の対応については、PTA総会等で周知を行い、不必要にメール配信は行わないこととしている。</p>																								
2	<p><b>【日課の見直し】</b></p> <p>○朝の会や清掃の時間、移動の時間等を少しずつ削減し、15時30分には児童が下校できるようにした。具体例としては以下のとおり。</p> <table><thead><tr><th></th><th>令和4年度</th><th>←</th><th>令和3年度まで</th></tr></thead><tbody><tr><td>・1時間目開始時刻</td><td>8時20分</td><td>←</td><td>8時35分</td></tr><tr><td>・給食の開始時刻</td><td>12時00分</td><td>←</td><td>12時15分</td></tr><tr><td>・5時間目開始時刻</td><td>13時30分</td><td>←</td><td>13時50分</td></tr><tr><td>・6時間目終了時刻</td><td>15時10分</td><td>←</td><td>15時30分</td></tr><tr><td>・児童下校完了時刻</td><td>15時30分</td><td>←</td><td>16時00分</td></tr></tbody></table> <p>○児童の下校時刻を毎日30分早くすることができた。これにより、教員が学級事務や教材研究等に費やせる時間が増え、結果、勤務時間の短縮につながっている。</p>		令和4年度	←	令和3年度まで	・1時間目開始時刻	8時20分	←	8時35分	・給食の開始時刻	12時00分	←	12時15分	・5時間目開始時刻	13時30分	←	13時50分	・6時間目終了時刻	15時10分	←	15時30分	・児童下校完了時刻	15時30分	←	16時00分
	令和4年度	←	令和3年度まで																						
・1時間目開始時刻	8時20分	←	8時35分																						
・給食の開始時刻	12時00分	←	12時15分																						
・5時間目開始時刻	13時30分	←	13時50分																						
・6時間目終了時刻	15時10分	←	15時30分																						
・児童下校完了時刻	15時30分	←	16時00分																						